



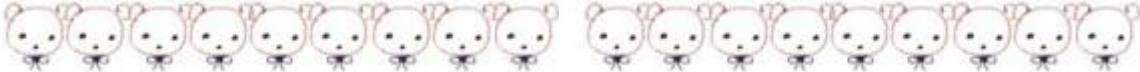
園長だより

いっしょに 楽しむ子

令和6年5月24日
富士市立昭和幼稚園

風薫る5月、園庭の新緑がまぶしく輝いています。お天気の良い日には、半袖で過ごすことができるようになり、色水遊びや砂場での泥遊びも始まりました。また、気温が高くなるにつれ、園庭の隅の落ち葉の下に、たくさんのダンゴムシを見つけることができるようになりました。虫好きな子どもたちは大喜びです。虫かごの中に、土や落ち葉などを入れ、『ダンゴムシのお家』を整える子どもの姿も見られます。初夏の訪れを、存分に楽しむ昭和幼稚園の子どもたちです。

ひよこ組



大きい組さんの様子を見て、ダンゴムシが好む場所を知った子どもたち。自分で捕まえることができるようになりました。ジュースづくりに見立てた色水遊びも楽しみました。素足で砂場に入り、水も使って遊び始めると、砂や水の感触に驚く子も…。慣れるにつれ、遊びがダイナミックになってきました。鯉のぼりに話しかけたり、竹馬に挑戦したりする姿も見られました。

さくら組



ひよこ組さんのお手本のさくら組さん。ダンゴムシをいっぱい捕まえて、色や大きさの違いを観察する子もいました。鮮やかなピンク色のツツジの花は、女の子たちのお気に入り。『昭和の森』の宝物です。土山では、泥団子転がしを楽しみ、砂場では樋に水を流してため池づくり。樋の角度や泥団子の大きさ、穴の深さなどを調節する姿は、実験を楽しんでいるように見えます。

青組



毎週水曜日には、絵本を借りに東図書館へお出かけ。短い距離ですが、横断歩道の渡り方や道路の歩き方を練習する機会にもなっています。砂場では、「高い山を作ろう！」「トンネル掘りたいね！」と友達と目的を共有し、一緒に遊びを楽しんでいます。丸池では、環境アドバイザーの『みどりさん』のご指導を受け、手長エビなど、たくさんの生き物を捕まえて大喜びでした。